



この男が
なんでも
お前のいいなり
でして
お前のいいなり
でして
お前のいいなり
でして

ダメだ……！

この男が
なんでも
お前のいいなり
でして

スマホに話しかけるだけで

あたしのカラダ……

全部いいなりに……！

お前みたいなの
お前のいいなり
でして

女体操作スマートフォン

悪魔のスマートフォン

写真を
撮りさえすれば
どんな人間でも
自在に操ることが
できる



そんな呪いのアイテムが
あるという情報が
ネットでもことしやかに
囁かれていた

しかし
それはウワサ
ではない

それは
実在する

そして現在
所有しているのは

久豆西ヒロアキ
20歳 無職

性欲の強さ以外
取り柄のない男だった



「ホントに
ホントなのか？」

「ネットで都市伝説として
ウワサされていたアレが
ボクのものに？」

もちろん
彼も半信半疑
だった

でも
試してみないことには
始まらない

彼が初めに
ターゲットに選んだのは

たまたま
同じ電車に
乗り合わせていた

同じ高校に
通っていた
1学年後輩のギャル

『沢近あのん』
だった

カチャ



「命令」を
文字かボイスで
入力するだけで

この
悪魔のスマートフォンの
主な機能は2つ

1つは
人体操作機能



よし
写真は撮った

これで……
あとは確か



相手のカラダを

自在に操作できる……!!

……!?



そして
もう一つの機能が

タッチ機能

写真に
映った体に

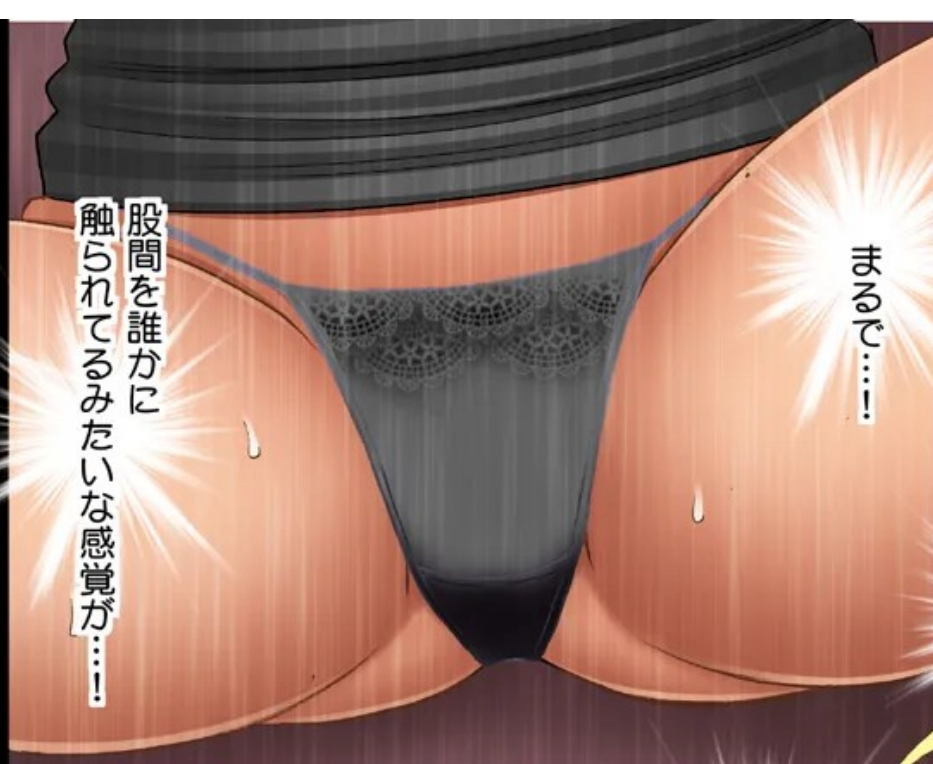
指で
触れるだけで



本人のカラダにも

刺激が伝わる...!!





股間を誰かに
触られてるみたいなのが……

まるで……！



やだ……！

誰にも触られてない
はずなのに……！



ああ……！
見られてる……！

こんなの……
恥ずかしいすぎる……！



いや……
股間だけじゃない……！

全身
触られてる……！

くそっ……！

駄目だ……！
体がビクビクして……！



でも……
逃げられない……！

どうするつもりも
できない……！



何かには配られてるじゃない！

あたしのカラダが

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ヒ
ヒ
ヒ

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ヒ
ヒ
ヒ

ズン

ズン

沢近あのん…
後輩にかわいい
ギャルがいることは
知っていた

でも
学年も違うし
何も接点がなかったから
話しかけることさえ
できない存在だった

その女が
今…

目の前で
自分の指示通りに
動き
身悶えている

この悪魔の
スマートフォン
の力は本物…！

そう彼は
確信する

人一倍
性欲の強い男
久豆西ヒロアキ

彼はこの
スマホの力を
つかって

いままでしてきた
妄想のすべてを
現実のものに
しようとしていた

女を自在に操る
悪魔の
スマートフォン

その効果を
さらに確かめる
ために

沢近あので
追加実験をすることにした
久豆西ヒロアキは

彼女の足の動きを
強引に操作して
ホテルに誘導して…

な…何なんだよ
お前は…!!

何一緒に
入ってきてんだよ!

グフフ…
電車の中で
悶えてるところ
見てたよ?

恥ずかしかったね
あのんちゃん

…ッ!

電車のアレも
お前のしわざ
なのかよ!

ていうか
何であたしの
名前を…!?

くそっ……!

何なんだよ
コレは……!

電車のときから
ずっと手足の自由は効かないし……!

勝手に
こんなところへ
誘導されて……!

こんな男と
二人きりなんて
絶対にやばい……!

悪いけど
キミには
実験台になってもらうよ

電車の中では
文字入力で
命令してたけど……

今度は
通話モードで
命令してみようか

……!!

『沢近あのんは
ベッドの上で
四つん這いになって
お尻をこっちに向ける』



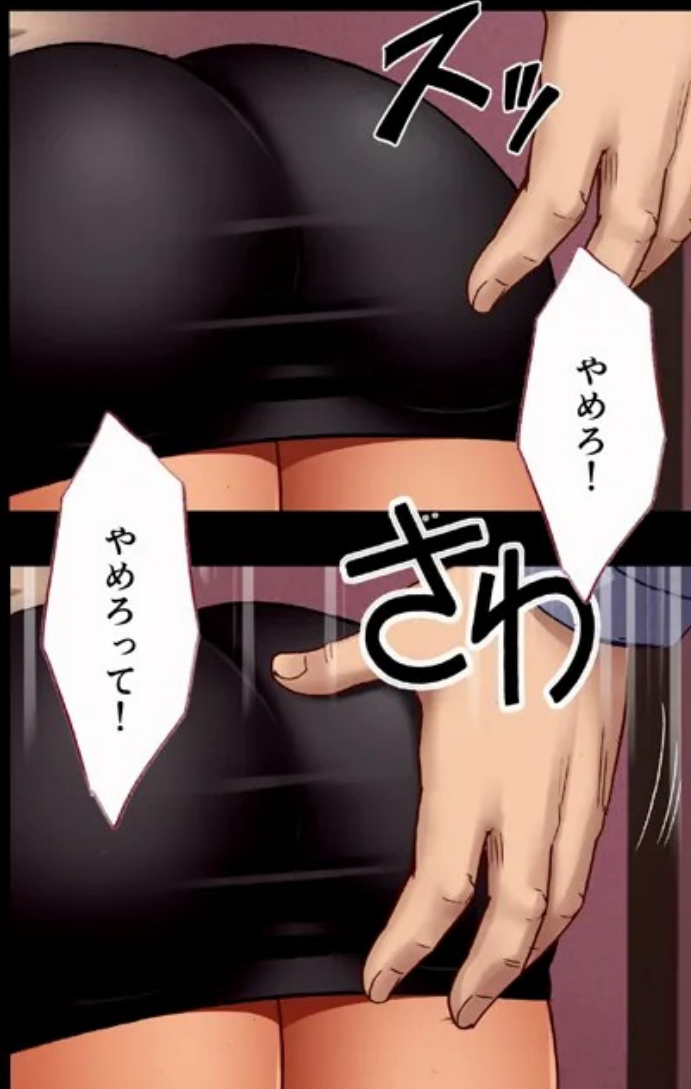


じゃあ次は…
これはどうかな？

『お尻の感度が
クリトリス並みになる』

…ッ！

ムッ



やめろ！

やめろって！

ざわ

どう変わったか
チェックしてみようか

グフフ
じゃあさっそく

待て！
おい！今
何したんだよ！

ま…待て！
触るな！
触るなっ！



おお！
反応が変わったね！
本当に
クリトリス並みに
敏感に
なっちゃった？



うそでしょ！ 本当に…

お尻がヘンに…！

こういう命令も
いけるのか！

手足だけじゃなくて
感覚器官まで
操れるのか
グフフフ

何なの
さつきから

もみ
もみ
もみ



カラダは勝手に
動かし……!

感度まで勝手に
上がっちゃうなんて……!

信じられない!

本当に
感度がクリトリス並みに
なってるなら
このまもお尻モミだけで
イケちゃうんじゃないの?

もみ
もみ

もみ
もみ

本当にこの男が
スマホに
話しかけるだけで

あたしのカラダが
全部……!

この男の
いいなりに
なってる!

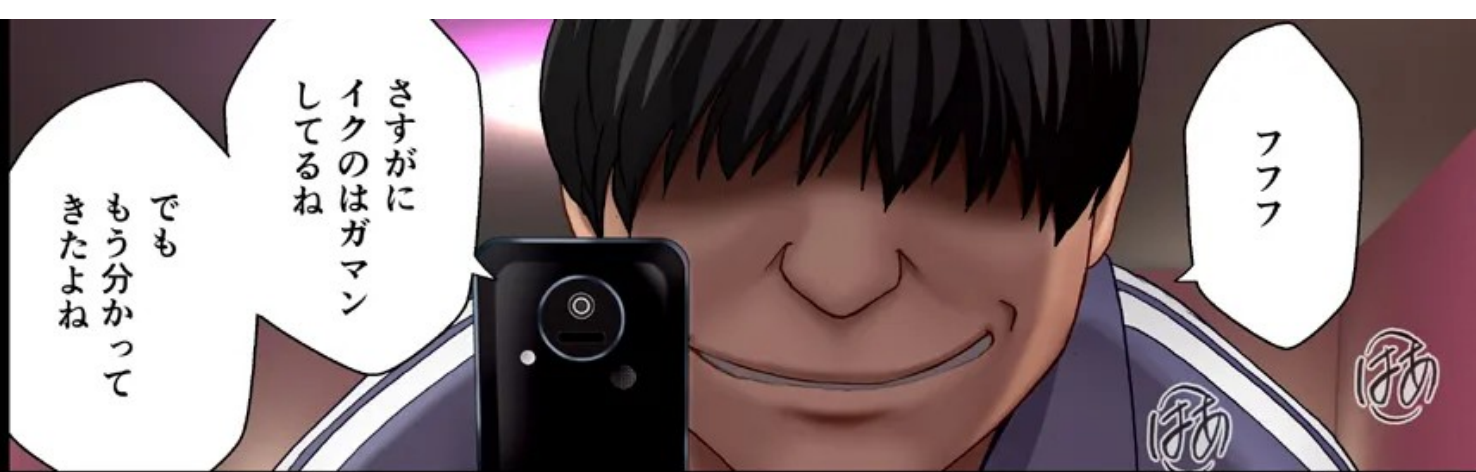
ダメだ…!

お尻が気持ちよすぎて…!!

やばい!
本当にイキそうに…!!

このままじゃ…
あたし…もう…!!





フフフ

さすがに
イクのはガマン
してるね

でも
もう分かって
きたよね



どんなに抵抗
しようとしても

キミのカラダはもう
ぜいぐんぶ

ほあ

びくびく

ほあ

びくびく

んん

ボクのいいなり
なんだよ

や...やめ...
ハッなものは
ニムッハッハッハッ!

ズリズリ

女を自在に操る
悪魔の
スマートフォン

それを手にした彼は
まさに水を得た魚

沢近あのんのカラダを
使って
さまざまな実験を
しながら

スマホの力で
どこまでできるのか
一つ一つ確認していった



体の動きに
関することであれば

手足だけに
限らず

目や口の動きといった
細かい部分まで

たいていのことなら
操作可能

フフフ
まぶたの動きを制限すれば
簡易目隠しプレイも
できちゃうわけか

ズンズンズン



『〇〇をやれ』のような
具体的な行動の指示の場合は
本人ができる行動なら
確実に実行されるし

グフフフ
強引に脱がされるよりも
自分で脱ぐほうが
屈辱的でしょ？

できなくても
可能な限りそれに
近いことをする

とくにエロに関する
命令の場合は
ほとんど実現可能だった





グフフ…



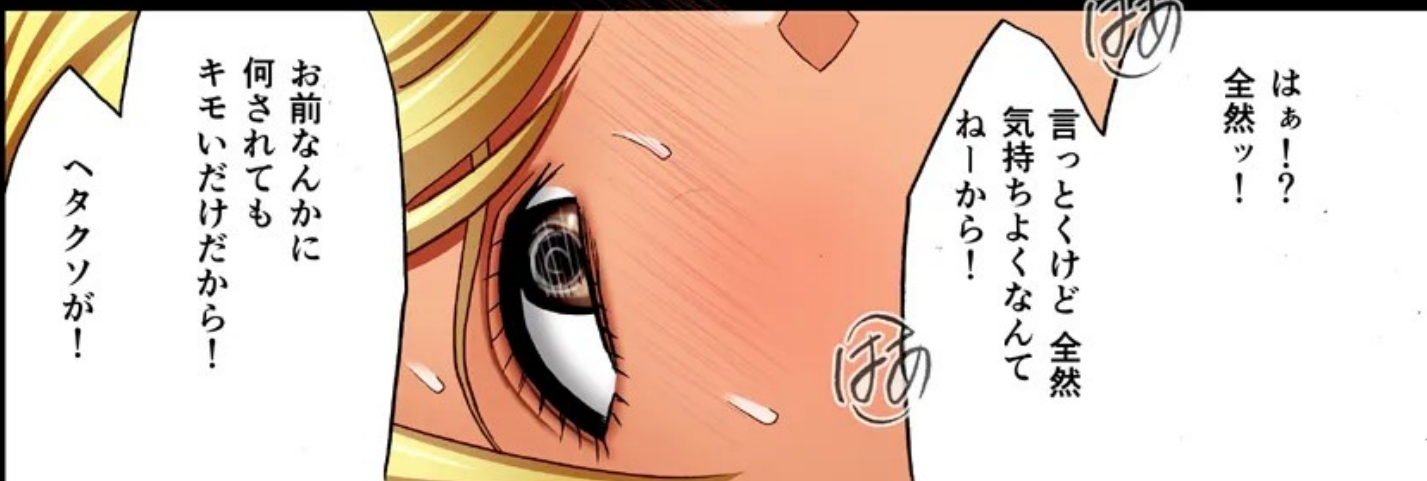
そして

そのまま
1時間以上…



乳首もクリトリスと
同じ感度
に
してあげたよ

気持ちいい？
イキそう？



はあ！？
全然ッ！

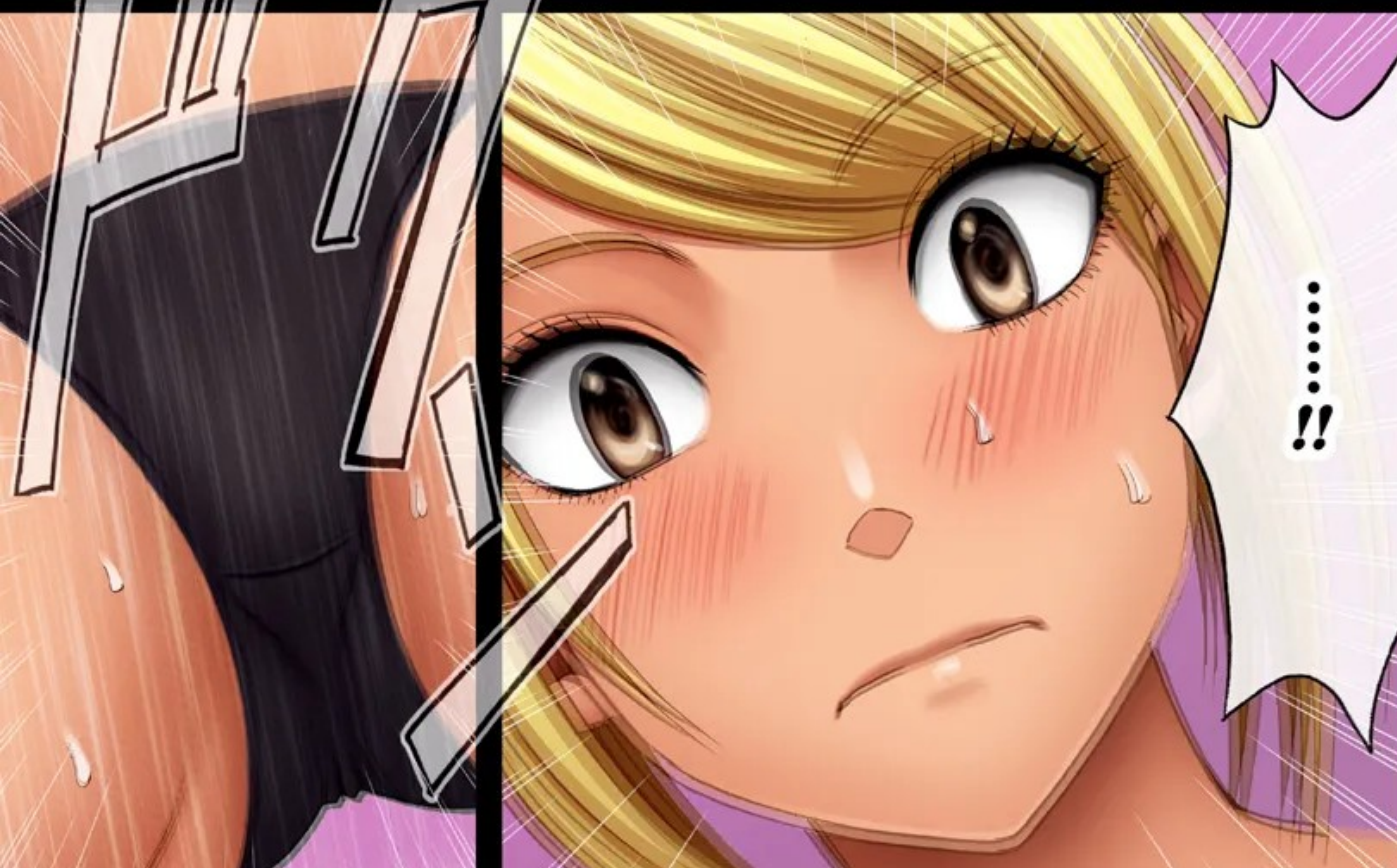
言っとくけど全然
気持ちよくなんて
ねーから！

お前なんか
何されても
キモいだけだから！

ヘタクソが！



これなら
どうかな？







ダメ…！

びくびく

びくびく

びくびく

指が当たってる
ところが…！

んんん

一気に熱くなってる！

何かこみあげてきて…ッ！



もう…ダメ！

イカされる！





やった！

イッた？
イッたよね？

グフフフッ！
こういう命令も
いけるんだ！

初めて自分の手で
女性をイカせた

その興奮は
治まらず
さらなる欲望を
呼び起こして



そのまま3時間以上
スマホでの実験は
続けられ

沢近あのんのカラダは
さまざまな操作を受け
100回以上イカされた

悪魔の
スマートフォンでの
操作は万能だった

やめろ！

またイッチャう？
またイッチャう？

い…
イッてねーから！
やめろ！

ああ！

びくびく
びくびく



バストが
100cmになる
みたいな
物理的に不可能な
命令は無効になるものの

身体の動きに関するものや
感覚器官の操作に関しては
ほぼ何でも可能



彼の普段している
エロい妄想に関しては
ほとんどすべて
実行できそうだった

グフフ…
おっぱい揉むだけで
イッちゃってる？



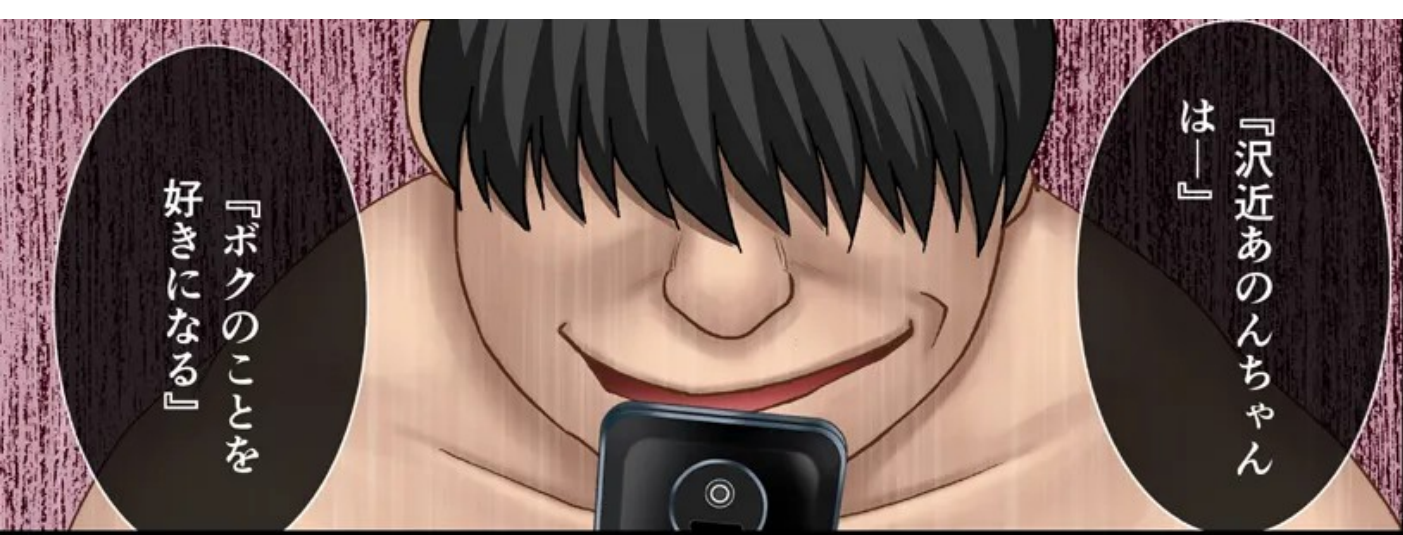
ただ

ひとつだけー

これだけ
イカされたらもう
ボクに逆らえないって
分かったよね

じゃあ
最後に…

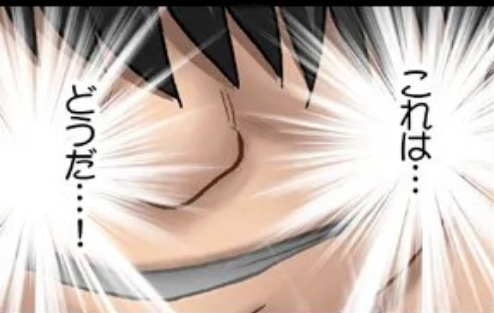
これは
どうかな？



『ボクのことを
好きになる』

『沢近あのんちゃん
はー』

送信…!



どうだ…!

これは…



身も心も
ボクの虜に…!

これで…



……ッ!





は…？

ふざけんな…！

お前みたいなの
クズのことなんて
誰が…！



……
なるほどね…

ま…これは
ダメか



ボクのが
好きになるなら
合意セックスしてことで
お互い楽しめると
思ったんだけどなあ

しょうがない

グッ



この悪魔の
スマートフォンでは

恋愛感情の操作は
できない

無理矢理
やっちゃうよ

あ……！

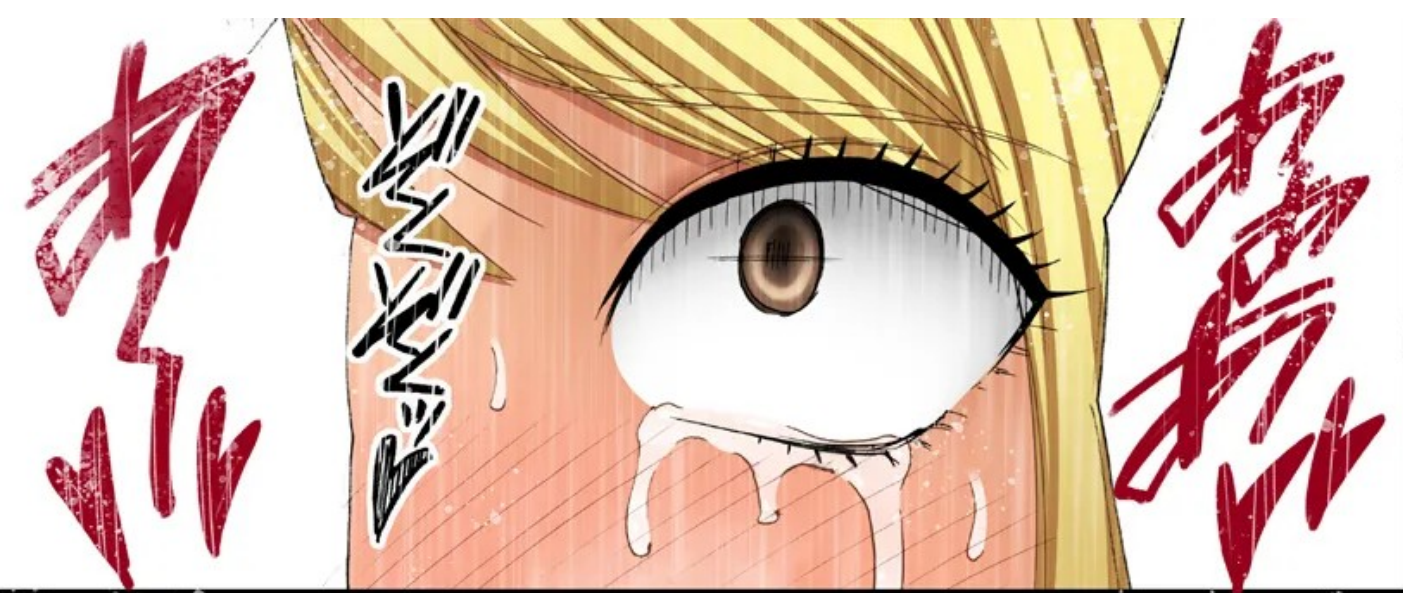
ダメッ！
あたし…

やめろ！

ズン

びん







クリトリス並みの
感度にされた
お尻を撫でられながら

一突きごとに
イカされて

これでもまだ
気持ちよくない
なんて言える？

こんなの
やばすぎ…ッ！

頭がおかしく
なっちゃうッ！

ダメだ…！
こんな男のことなんて
好きになんて
ならないし…！

イヤでイヤで
しょうがないの…！

カラダは…！

んんん…！

カラダだけは
どんどん

あ

あ

ゲ

ゲ

びん

びん

あ

あのんちゃんが
ボクの記念すべき
一人目の女に
なったわけだね

せっかくだから
記念撮影もしておこう
ちゃんと動画でね

形だけでも
合意っぽく
しておこうかな

認めない！

こんなの……！

絶対に認めない！

『沢近あのんは
こっちを向いて
ダブルピースをする』

まずは
一人目……!

うそっ!
いや……!

また…手が
勝手に……!

こんな
屈辱的な……!

びく
びく
びく

攻略
完了だ……!

びく
びく

びく
びく





「すごいものを
手に入れてしまった」

「ボクはもう
無敵だ…!」



「今までしてきた
エロい妄想を全部」

「現実のものに
してやる!」

ぐわんぐわん
ぐわんぐわん
ぐわんぐわん



彼は
目の前の女を
弄びながらも

すでに
次の標的のことに
思いを
めぐらせていた

次回予告

最強の女格闘家

女子大生アナウンサー

彼が次に狙いを定めたのは
美しき学生時代の同級生たち



完璧な女

若き女社長

**それは彼の人生を狂わせた女たちへの
復讐でもあった**